

令和2年度お遊戯会の無観客開催について

日頃より保育園運営について、ご理解ご協力を頂きありがとうございます。

今年度のお遊戯会について、けやきホールでの開催が困難となり、保育園ホールでの開催とさせて頂くことは通知の通りとなりますが、無観客開催について、何とかならないかとのお声を頂いております。このことについて今一度しっかりとご説明をさせていただきます。

ここ最近の鈴鹿市内のコロナウイルス感染症の発生状況を見れば、小康状態にあるように感じます。ですが、以前から報道等でも言われているように冬季に向けてインフルエンザとの同時流行の危険性があります。加えて、日本よりも一足先に冬を迎えるヨーロッパ各国ではすでに第二波の兆しが出始めており、フランスのパリでは夜間外出禁止令が発令されています。日本においても、このまま収束に向かうとも考えにくいだろうと思います。

また、これまでの感染者の傾向を見ていると、基本的には常時マスクを着用しており、予防には努めていたにも関わらず感染していることが多いように思われます。

そのような中で、観客を入れての開催に踏み切って、もしも感染者が出てしまうようなことになると、たちまち保育園は休園せざるを得なくなり、全園児の保護者にご迷惑をお掛けすることになってしまいます。また、保護者の中にはご本人やお身内に基礎疾患をお持ちの方もおられると思います。そういった方は感染することが、そのまま命へのリスクに直結してしまいます。

また、日程を分散し、複数日程に数人ずつ保護者をお招きしての開催という案も考えました。この方法でしたら感染リスクは最小限に抑えられるとは思いますが、しかし複数日程にしてしまうと今度は子どもたちへの負担が生じます。人前で演じたり踊ったり歌ったりすることが好きな子どもは2~3回なら何とか集中力を保ってできるかもしれませんが、それが苦手な子どもにとっては苦痛な数日間となってしまいます。また、行事は普段の保育の延長線上にあるものと考えており、その節目として、これまで行ってきた保育の中でどれだけ子どもが成長・発達をしたかを見て頂く大切な機会です。ですが、その行事のために子どもたちに複数日程に渡って、尚且つ集中力をもってその舞台上で演技をさせてしまうのは保育本来の意味とは少し離れてしまうように思います。

保護者の皆様に子どもたちの成長・発達を見て頂く機会が1度もないまま令和2年度が終わってってしまうのは、職員にとっても無念ですし、保育園としても非常に残念です。しかしながら、相手が目に見えないウイルスであり、世界規模の危機である以上、皆で痛み分けをしながら、力を合わせてこの危機に立ち向かわないといけないと思います。何卒ご理解ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

ながさわ保育園
園長 中瀬弦偉

